

駅前区は土岐市の街づくりの中で、中心市街地である部分がその大半を占め、言い換えれば土岐市の顔となるべき地域であります。理想と現実には程遠い状況にあります。そんな中で、ここ数年すでに完成した新土岐津線に続いて、現在河合多治見線道路改良工事が進行しており、見方によっては、駅前区は今後大きく街が変化するかもしれません。

しかしながら道路が広く歩道も整備されること付随して、新しい街づくりが行われないと、広い道路によって街が分断されてしまい道路だけが目立ち、ただ単に駅前を通過する車が、スピードを上げて通り過ぎていき、道路を横断するたびに、危険が増加することだけになります。

今後将来に向けて、新しい街をどの様にしているのか、行政の力によることも当然必要となりますが、駅前に住む我々も大きな努力が必要になると思います。

連合区のスローガンである安心安全の街づくりの一環として平成十六年度から駅周辺パトロール活動が多岐の方々の参加により、十数年間の長きにわたり実施されており、

安全な街づくりに向けて一定の効果は現れていると思っております。平成三十年から二十九年度事業でパトロール地域の中心となる駅前広場が拡張され、駅の利用者により便利になる事業が既に動き出し、トイレが新設されました。この整備事業の中で安全安心の為に是非とも防犯カメラを行政の手で設置されることを強く希望するものです。昨今、日本中の街中で発生する事故・事件の映像が毎日のようにテレビで放映されています。このような映像は行政の設置によるものが多いようではあります。映像に映った個人のプライバシーについて、録画保存時間、閲覧出来る人間の制限等をどうするのか、多くの課題をクリアする必要があると思います。折角駅前広場が整備されることに合わせて、カメラが設置されることを切に願います。

久尻区に想う

久尻区長 安藤 和夫

三十年度、久尻区区長に仰せつかりました安藤町内の地名、場所もわか

らず気軽な気持ちでお受けしました。前副区長さんが苦勞して作成された地図をもとに、全十九町内を回っていることがあれば、区で応援ができないかと考えました。これから区会で意見を集約し、住みやすい久尻区にしていきたいと思っております。非力ではありますが、皆様のお力を借りて進めてまいります。

さて、少子高齢化の波が押し寄せ、災害時の住民同士の協力、自助共助が必要とされる時に、役員をやりたくない・病弱・高齢等の理由で、自治会に未加入の世帯が約3割に達しています。この「泉の自治だより」が届けられるのは、加入世帯のみと思っております。ぜひ加入の呼びかけをお願いいたします。

次に、アクアシルヴァ内に優良企業が多く入られ、生産活動が始まっています。それに伴い従業員の方も久尻地区で生活されています。アクアも久尻区。今後とも、地域住民

と末永く、良いお付き合いをして頂きたいと思っております。地域の安全は地域で守ろうの旗の下、久尻区は他の地域ではまねの設置できない防犯カメラを設置する年度まで、役員さんに十五基の防犯カメラの設置を完了させて頂きました。このように設置完了と形にするには、大変な企画・労力が必要で、本当にご苦労様でした。

最後に、冒頭にも述べましたが、各町内の現状を踏まえ、区で対応できないところは前向きに対応していきたいと思っております。来年度の春に区民の皆様が、「アレ...何か変わったかな?」と思っていただけの様子の一年頑張りたいと思っております。皆様のご理解と温かいご支援をよろしく申し上げます。

河合区長を拝命して思うこと

河合区長 額編 健二

まず最初に思ったことは、私に区長を務めるのかということ。現役を退

いて随分年月が過ぎた私は、仕事に対しての感覚というものが錆びついて



しまつていたし、自治活動そのものを本当には理解していない身であったため、地域に迷惑がかかるとして、何ら河合区にとつてプラスにはならないと考え、受けない方が良いでしょう。誰かが大役を受けない限り地域の明日はやって来ない、と説得され受諾をしました。誰しも始めてやることへの不安はつきもの。三役をはじめ町内会長、隣保班長等の助けを借りてこの一年間務めさせていただきました。どうぞ、よろしくお願いたします。

育成会の課題と今後

泉町青少年育成会長 安江 年正

さて、河合地区は泉町の一番東側に位置し、隣町は瑞浪市。西側は定林寺区、南側は土岐川の向うには肥田町があり、北側は山間部となっており、農業を中心とした、とても自然の多い地区です。五町内しかなく世帯数も三百弱で、泉町の他地区とは比較にならない小規模な地区。だから、何らかの地区の役が意外に早く回ってくることに、昔のことを完全に忘れてしまっているというところが少なく、それがメリットではないでしょうか。いつ何時、どのような地区行事があるのか

年配の方々には聞けば教えていただけ、とても助かります。右往左往した四月の忙しさもひと段落し、これから始まる環境整備としての水路の清掃や草刈り、秋祭り、運動会、葺山の入札、年末年始の神事、餅投げ大会等の地区行事。土岐市や泉連合区からの指示による活動等かなり予想されますが、早めの周知、取り組み（これが非常に難しい）ができるように、役員一同で頑張りたいと思っております。特に私が率先垂範しないと物事が進まないのでは

肝に銘じたいと思っております。最後になりますが、平成二十九年度からの引継ぎ事項がたくさんあります。真の自身で理解をしない限り現在ですが、幸いにも顧問としての前区長から何かとアドバイスをいただいております。少しでも解決できるように努力したいと思っております。

泉町育成会の安江と申します。あと二年、育成会会長を務めさせて頂くことになりました。皆様方におきましては、日頃より泉町の育成会活動に多大なご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。この場を借りて御礼を申し上げます。この年度を迎えるにあたり、現在私達が直面している課題と今後の育成会活動について、説明をさせて頂き、活動に対するより一層のご理解を頂くことができればと思っております。この様な機会を頂くに至りました。

さて、現在の社会情勢におきましては、「少子高齢化問題」をはじめ、「貧困・格差問題」や「労働

者不足問題」など、様々な問題が顕在化している状況にあるかと思われ、子供たちを取りまく状況（学校・家庭・地域活動）も、その様な社会問題の影響を受けながら、それぞれ個別の問題が日々提示されるようになってきたと、育成会の活動を続ける中で感じるものが多くなりました。それらを踏まえて、特に育成会として今後に向けて取り組むべき課題と感じていることを、二点程ご紹介させていただきます。

一点目は、育成会組織の世代交代であります。思えば、十年ほど前にPTA関係の役職も一段落を迎えた頃、現在の育成会組織の基盤が再構築されました。単二二年で構成要員が入れ替わる組織と違い、在籍期間に制限がない育成会は、毎年の様に活動内容の見直しと改善を繰り返すことで、より多くの方々から支持を頂ける活動に成長させることができました。しかしながら、その反面で企画や運営に関わるノウハウが偏ってしまう傾向にもなっており、自らが世代交代を生み出しにくい体質となつてしまつたように感じています。誰でも気軽に参画でき、組織が継続的かつ段階的に再生していくような仕組みの構築に取り組む必要性と使命を切に感じることです。



平成30年度各役員、町内会世帯数等

平成30年3月31日現在

	町内会数	班数	世帯数	広報数	回覧数
泉町	62	457	5,372	5,654	568

河合区	区長	額 健二	町内会名	賤ヶ洞	町内会長名	中村俊弘	班数	1	世帯数	8	広報数	10	回覧数	1
	副区長	高橋利昭	上	小栗隆之	3	43	48	3						
	副区長(会計)	宮崎清一	中野	安藤悦道	5	79	81	7						
	女性部長	額 ちとせ	岩野	山田和伸	6	90	90	9						
	々副部長	水野恵子	山手	林修三	6	63	73	6						
		小計	5町内会		21	283	302	26						

駅前区	区長	今井良洋	町内会名	新土岐津東	町内会長名	加藤貴之	班数	3	世帯数	48	広報数	48	回覧数	3
	副区長	塚本知明	新土岐津西	田中基晴	8	65	64	9						
	副区長	長江忠男	本町	丹羽大作	4	37	37	5						
	会計	春田宗一郎	西本1	錦敏夫	3	22	23	3						
	女性部長	加藤千恵子	西本2	大津勝	5	36	35	5						
	々副部長	水野純子	西本3	日比野正男	3	25	25	3						
			更生1	田中義郎	6	66	73	7						
			更生2	古賀孝徳	4	42	42	4						
			中央	後藤恭一郎	3	54	63	7						
			東本	佐々木誠	6	34	38	6						
			小計	10町内会		45	429	448	52					

定林寺区	区長	水野登志夫	町内会名	東	町内会長名	高橋茂樹	班数	6	世帯数	57	広報数	57	回覧数	7
	副区長	奥村清一	記念	澤田俊昭	2	20	20	2						
	副区長(会計)	鈴木良市	本郷	中山圭介	4	41	52	5						
	女性部長	伊藤恵理子	土居	肥田有司	6	65	86	7						
	々副部長	加藤美穂	中川	大澤雅之	5	48	48	5						
	々副部長	鈴木美智子	宮前1	鈴木啓二	8	74	73	8						
			宮前2	藤本博隆	5	83	95	8						
			原	山本利明	8	96	121	11						
			小計	8町内会		44	484	552	53					

大富区	区長	熊谷正史	町内会名	東 黨	町内会長名	今井典克	班数	15	世帯数	163	広報数	163	回覧数	20
	副区長	山田春久	北山	水野益郎	5	76	76	6						
	々	平井練一	北山2	水野秀成	18	301	305	29						
	会計	西尾清司	中 黨	山内健	10	112	118	12						
	女性部長	各務裕子	西黨第1	水野克彦	11	129	130	15						
	々副部長	水野久美	西黨第2	堀良光	11	117	119	11						
	々副部長	中島文子	仲 森	小嶋一光	4	33	33	4						
			大 徳	木股昭一	9	119	119	15						
			梅ノ木	村上雅樹	5	58	76	5						
			神 栄	大木重正	9	124	141	14						
			島 田	曾根規晴	6	67	67	10						
			小計	20町内会		162	2,108	2,225	215					

久尻区	区長	安藤和夫	町内会名	緑ヶ丘	町内会長名	成瀬典男	班数	12	世帯数	112	広報数	115	回覧数	13
	副区長(総務)	奥村哲	緑ヶ丘東	柴田利彦	5	62	62	5						
	々(行事)	花川幸一郎	日之出	片桐育郎	13	155	172	16						
	々(会計)	高木治	明 治	加納誠	10	114	123	12						
	女性部長	渡辺友美子	郷	桑原良三	7	66	70	8						
	々副部長(書記)	黒豆啓子	岩 畑	西 恭弘	7	91	93	9						
	々副部長(会計)	今井弘子	大坪1	三村真海	7	111	111	12						
			大坪2	酒井教雄	8	124	123	14						
			寺下1	吉田辰男	13	166	169	20						
			寺下2	加藤雄三	6	58	58	7						
			小計	19町内会		185	2,068	2,127	222					



連合区女性部長
渡辺友美子



自治だより編集部長
中島満寛



会計

田中敏明



総務

有賀義隆



副会長

額 健二



副会長

安藤和夫



副会長

今井良洋



副会長

熊谷正史



副会長(筆頭)

水野登志夫



会長

島崎成治

泉町連合区

平成30年度

泉町自治会役員

泉町連合区	会 長	島崎成治	総 務	有賀義隆
	副会長(筆頭)	水野登志夫	会 計	田中敏明
	副 会 長	熊谷正史		
	々	今井良洋		
	々	安藤和夫		
々	額 健二			

泉の自治だより編集部	編集部長	中島満寛
	編集副部長	中島哲生
	編集委員	額 健二
	々	知原勝成
々	安藤充伺	

連合区女性部	連 合 部 長	渡辺友美子
	副部長(会計)	各務裕子
	々(書記)	加藤千恵子
	々	伊藤恵美子
	々	額 ちとせ

昭和三十年代前半まで伊野川や各地域の小川では六月に入ると蛍が乱舞していましたが、急速な都市化により蛍の住む環境が悪化し、すっかり蛍の姿が消えてしまいました。

平成に入り、土岐市浄化センターで蛍の幼虫の飼育が始まり、そこで育った幼虫を頂いて仲森池近くの伊野川に放流するようになり二十五年経過しました。

しかし、同浄化センターでの蛍の幼虫の飼育が三年ほど前から中止となりました。蛍の飛ぶ姿が



見られなくなることを危惧した会員から、蛍の飼育を始めないかとの提案があり、飼育活動を始め三年目を迎えました。蛍の幼虫の飼育のノウハウも解り、昨年捕獲した親虫から産卵させて沢山の幼虫が誕生しました。

その幼虫を飼育してもらっている会員や泉町の他の団体にも配布しました。平成会では四月十五日に会員二十名程で三個の水槽から幼虫を取り出す作業を行いました。幼虫の数は二百九十六匹でした。当日放流する予定のところ前日夜来からの降雨のため、水量が多く翌日に行いました。

昨年度の蛍は近年にない多さでした。おそらく伊野川で自然繁殖もしているのだと想われます。六月初旬から三週間ほど小さなお子様連れから年輩の人まで楽しませてくれました。

今年も沢山の蛍が飛ぶ交うのを望んでいます。泉町民の皆さんには、この紙面でしかお伝え出来ませんが、とても幻想的で懐かしいものです。蛍の一押しポイントには仲森池北西の伊野川に懸かる橋から上流で十台止められる駐車場も有りますので便利です。

毎年沢山見られる理由ジャンプさん前では街灯を二十二時まで消して配慮いただいております。是非とも見物にお立ち寄り下さい。



平成会代表
田中 成典
各務 憲司

里山探訪

泉の自治体より編集部長 中島 満寛

泉の自治体より第一二四号で紹介された美佐野街道について泉公民館主催のイベント「春の同街道を歩く」に参加する機会があった。

当日は、前日の天気予報が曇り一時雨の予報であったが、曇り空で気温は平年と比べやや低めであったが、ウォーキングに支障をきたさなかった。出発に先立ち、主催者側より挨拶があり、午前九時過ぎに大富区長の先導で参加者四十六名が泉公民館を出発した。

美佐野街道は、土津町高山と御嵩町美佐野を結ぶ街道で往時は、物流の中心であったと聞いている。しかし、国道二一号线、中央線の開通に伴い、その役割は急速に衰退し、今は往時の賑わいはなく、川のせせらぎの音、風が木々の梢をゆらす音、時折車が、近くの道を通り過ぎる音が聞こえる程度であり、本当に静かな時間を過ごすことができた。



また、森林ボランティア協会、IAA協会の川合先生も参加された。美佐野街道沿いには、準絶滅危惧種に指定されているシデコブシの群生地があり、三月中旬以降の異常気象の影響で、開花が早まり、既に散ってしまっていないか心配したが、我々を待っていたかのように可憐な花を咲かせていた。特に、三つ葉ツツジも満開で、白とピンク色とのコントラストは目を見張るものがある。



しかし、反面街道脇ではイノシシが土を掘り起こした後が見られる被害の拡大が危惧される。参加者の中には、親子連れの姿も見られ、子どもさんの感想も聞くことができた。その中には、自然の美しさ・大切さについての思いを深く感じることで、孫子の代まで自然豊かな我が里山が続く事を願う、美佐野街道をあとにした。

平成30年度 泉町青少年の主張大会開催される

5月19日(土) 午前10時より 泉中学校体育館にて

去る5月19日(土)午前10時より泉中学校体育館で、泉町こどもの健全育成活動に携わっている関係者280名が参加し、「泉町笑顔の集い」青少年育成町民会議青少年の主張大会が開催され、6名の児童生徒さんから発表がありました。

発表者は、次の方々ですが、発表内容については、紙面の都合上、次号に掲載します。

発表者

- ・ 額 陽 香 泉小学校 6年 「私の将来の夢」
- ・ 高山 真 望 泉小学校 6年 「英語の楽しさ」
- ・ 加藤 柚 葉 泉西小学校 6年 「友達関係はむづかしいけれど大切」
- ・ 古川 七 望 泉西小学校 6年 「土岐市の未来をきれいにするために」
- ・ 額 修 祐斗 泉中学校 3年 「僕のボランティアに対する考え」
- ・ 小川 舞 花 泉中学校 3年 「親がいるありがたさ」

